



徳田教之 教授 近影

## 徳田教之教授 略歴

昭和六年	八月	鳥取県に生まれる。
昭和一九年	三月	東京都中野区立桃園第三国民学校卒業
昭和二五年	三月	鳥取県立倉吉高等学校卒業
昭和三〇年	三月	慶応義塾大学法学部政治学科卒業
昭和三二年	三月	慶応義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修了、法学修士
昭和三二年	四月	日本相互銀行に入社
昭和三四年	三月	同行を依願退職
昭和三四年	四月	慶応義塾大学大学院法学研究科研究生
昭和三五年	三月	同大学法学研究科研究生修了
昭和三五年	四月	アジア経済研究所（調査研究部）に入所、昭和五四年五月末日まで勤務
昭和三七年	十月	同研究所海外派遣員として国立台湾大学農村社会経済研究所、香港大学中文学院に留学（昭和三九年十月まで）
昭和四二年	八月	同研究所海外調査員としてカリフォルニア大学（バークレー）現代中国研究センターに留学、同センター客員研究員（昭和四三年八月まで）
昭和四三年	八月	同大学現代中国研究センター研究員（昭和四四年八月まで）
昭和四五年	五月	アジア経済研究所調査研究部主任調査研究員に昇格
昭和四五年	十月	同調査研究部東アジア調査研究に関する企画、調整、連絡担当に任命
昭和五〇年	三月	慶応義塾大学より法学博士の学位授与
昭和五四年	五月	同調査研究部次長に昇格後退職

昭和五四年 六月 筑波大学社会科学系教授に就任  
昭和五四年 七月 オーストラリア国立大学現代中国研究所客員教授（九月まで）  
昭和五七年 七月 日本国在北京大使館専門調査員に就任（昭和五八年十月まで）  
昭和五九年 七月 筑波大学社会科学系長に任命（昭和六一年七月まで）  
平成 二年十一月 カリフォルニア大学（サンディエゴ）国際関係・太平洋研究大学院客員教授  
平成 七年 三月 筑波大学を定年退官

〔学会活動及びその他〕

アジア政経学会の評議員、理事、日本国際政治学会の評議員、社団法人アジア調査会研究委員、及び文部省大  
学設置・学校法人審議会専門委員（大学設置分科会、法学）、慶応義塾大学法学部、同大学大学院法学研究科、明  
治学院大学法学部の非常勤講師などを務む。

徳田教之教授 著作目録

著書

『毛沢東主義の形成』

慶応通信

昭和四六年十一月

『毛沢東主義の政治力学』

慶応通信

昭和五二年 四月

編者収録論文

『中ソ社会主義の政治動態』 辻村明と共編

『まえがき、第三章 一九五四年における高岡・饒激石粛清の政治力学』

アジア経済研究所

昭和四九年十二月

『中国社会主義の戦略形成 一九五三―五八』編

『まえがき、第一章 社会主義戦略としての毛沢東主義の起源』

アジア経済研究所

昭和五一年 十月

『中国政治の長中期的展望』編 『序論 転換期社会主義社会の制御と統合、第二章 中共湖南省委員会と第十一期三中全会路線、終章 中国政治の中長期的展望』

日本国際問題研究所

昭和六一年十一月

共著収録論文

〔第二章 第一節 中国共産党の基本的性格(石川忠雄と共同執筆)〕	民主主義研究会	昭和四一年	二月
〔中国政治経済総覧(昭和四一年版)〕			
〔第三章 中国共産党における毛沢東の指導権出現の政治的文脈〕	アジア経済研究所	昭和四七年	三月
〔中国革命の展開と動態〕野村浩一、小林弘治編			
〔項目・収斂理論、ポスト・スターリン期の政治体制〕	有斐閣	昭和五〇年	四月
〔現代政治学の基礎知識〕内田満他編			
〔項目・中国・政治・社会、中国共産党〕	TBSブリタニカ	昭和四九年	六月
〔ブリタニカ国際大百科事典〕十三			
〔第五章 毛沢東の過渡期階級闘争論の形成と農村政策の役割〕	アジア経済研究所	昭和五五年	十月
〔人民公社制度の研究〕嶋倉民生、中兼和津次編			
〔第五三節 毛沢東思想〕	文芸春秋社	昭和五五年	八月
〔大系民主社会主義〕第一巻、思想 民主社会主義研究会議編			
〔第六章 延安時代と毛沢東路線の確立〕	有斐閣	昭和五六年	六月
〔中国現代史〕中嶋嶺雄編			
〔第二章 中国共産党〕〔中国総覧(一九八二年版)〕	霞山会	昭和五七年	四月

〔第三章 四つの近代化〕路線の政治的構図〕

『現代中国政治の構造』衛藤審吉編

日本国際問題研究所 昭和五七年 二月

〔共産主義政治における「領袖」批判〕『現代中国と世界―その政治的展望』石川忠雄教授還曆記念論文編集委員会編

慶応通信 昭和五七年 六月

〔第八章 政治体制改革〕『中国総覧（一九八八年版）』

霞山会 昭和六三年 六月

〔項目・中国の政治機構、全国人民代表大会〕

大学教育社 平成 三年 六月

『現代政治学事典』

〔IV 中国社会主义における毛沢東の映像と残像〕『現代中国 第四巻 歴史と近代化』小島晋治編

岩波書店 平成 一年十二月

〔第八章 政治体制改革〕『中国総覧（一九九〇年版）』

霞山会 平成 二年 六月

### 翻訳

『毛沢東―毛と中国革命』（J・チェン著）

筑摩書房 昭和四四年 五月

### 共訳

〔素顔の毛沢東・新語録―毛沢東思想万歳〕より抜粋〕  
林嘉言と共訳

『季刊 現代中国』  
十一 昭和四九年 九月

- 『毛沢東の秘められた講話 上』(R・マックファーカー等著)  
小山三郎、鏡屋一と共訳 岩波書店 平成 四年 九月
- 『毛沢東の秘められた講話 下』(R・マックファーカー等著)  
同上共訳 岩波書店 平成 五年 二月

外国図書収録論文

Chinese Communist Party, Political Parties of Asia and Pacific, ed. by Haruhiro Fukui, 1985, Greenwood Press, USA

Part one. 3. The Impact of De-Stalinization on the Growth of Mao's Thought in 1956, Power and Policy in the PRC, ed. by Yu-ming Shaw, 1985, Westview Press, USA

Part III. 1. Mao Zedong made aggressive, detailed preparations to participate in the Korean war. The Truth about the Korean War, 1991, Euljoo Publishing Co., LTD. (Seoul)

〔延安時代和毛沢東路線的確立(節訳)〕

『日学者視野中的毛沢東思想』

中央文献出版社(北京) 一九八八年 九月

雑誌掲載論文

江西ソビエト期における抗日反帝統一戦線の諸問題  
(石川忠雄と共同執筆) 三一巻七号

『法学研究』

昭和三十三年 七月

中共の政治指導と官僚主義批判の問題点	二卷三号	『アジア経済』	昭和三六年	五月
中国共産党の人的構成の特質―その党風形成への意義	六卷九号	『アジア経済』	昭和四〇年	九月
中国共産党における世代的断層	十号	『国際時評』	昭和四一年	二月
毛沢東の「新民主主義」概念について		『アジア経済』	昭和四一年	九月
―イデオロギーと権力の関連への一つの視角	七卷九号	『自由』	昭和四二年	一月
中国共産党の大衆指導	九卷一号	『アジア経済』	昭和四五年	一月
中国共産党における毛沢東の権威について		『アジア経済』	昭和四五年	九月
―遵義会議から七全大会までを中心として(一)	十一卷一号	『アジア・クォーターリー』	昭和四五年	四月
中国共産党における毛沢東の権威について(二)	十一卷九号	『法学研究』	昭和四五年	六月
毛沢東思想という神話について	二卷二号	『改革者』	昭和四五年	七月
中国共産党における毛沢東の権威と		『アジア経済』	昭和四五年	二月
リーダーシップの生成と定着化過程	四三卷六号	『アジア調月報』	昭和四六年	三月
日中関係のイメージと「日本軍国主義」論	一二四号	『アジア経済』	昭和四六年	八月
延安整風運動と毛沢東のカリスマ化	十一卷十二号			
現段階の中国の政治状況	十一号			
中国共産党における「毛沢東思想」の創出とその凝集力	十二卷八号			



高岡肅清の葛藤構造 十一号	『季刊現代中国』	昭和四九年 九月
農業合作化問題と「毛沢東主義」の起源―とくに一九五五年七月の 毛沢東の「合作化」演説を中心として 十六卷二号	『アジア経済』	昭和五〇年 二月
社会主義国家像の混迷 七号	『論展』	昭和五〇年 四月
新憲法は毛沢東への金時計か 七卷五号	『諸君』	昭和五〇年 五月
全人代会の召集と中国政治の動向 六一号	『アジア時報』	昭和五〇年 五月
毛沢東の内なるスターリン 十一号	『論展』	昭和五〇年十二月
毛沢東の社会主義戦略と階級闘争論 一卷一号	『共産主義と国際政治』	昭和五一年 九月
毛沢東以後の中国内政の展望 八一号	『アジア時報』	昭和五二年 一月
華国鋒政権のバンドラの箱 四月二二日号	『朝日ジャーナル』	昭和五二年 四月
非毛沢東化が進む中国 二〇号	『論展』	昭和五二年 六月
鄧再復活と毛思想の運命 九号	『革新』	昭和五二年 九月
党大会を迎えた華国鋒政権のゆくえ 一二卷十号	『二〇世紀』	昭和五二年 十月
中国―政治（七〇年代日本における発展途上地域研究） 一九卷一・二号	『アジア経済』	昭和五三年 二月
華国鋒政権の構造と政策 九七号	『アジア時報』	昭和五三年 五月

毛沢東神話の変形―華国鋒政権下における継続革命論の転換をめぐって 三巻一号

三巻一号

『共産主義と国際政治』

昭和五三年 六月

中国における「現代化」の政治

―ポスト毛沢東期中国の政治的展望を求めて 四号

『筑波法政』

昭和五六年 三月

中共五中全会と劉少奇の復権 一五七号

『東亞』

昭和五五年 七月

六中全会を迎える中国の内政展望 一三六号

『アジア時報』

昭和五六年 八月

毛沢東批判における弁明の論理 四号

『東洋史論』

一九八二年 九月

整風運動の政治・社会的背景

―毛沢東時代とは大変異なった知的風土 一六八号

『アジア時報』

昭和五九年 四月

中国・湖南省の左傾問題について

―転換期における党中央と地方党のズレ 二〇三号

『東亞』

昭和五九年 五月

中国社会主義の現在の状況 一八四号

『アジア時報』

昭和六〇年 八月

中国の「全面的改革」と政治民主化 三二三号

『国際問題』

昭和六二年 二月

中国の政治体制改革論の行方 二二一号

『アジア時報』

昭和六二年十二月

毛沢東、朝鮮戦争参戦の秘話 三二二号

『AERA』

平成 二年 八月

中国共産党十四回大会路線を分析する 二七三号

『アジア時報』

平成 五年 二月

外国語論文・外国雑誌掲載論文

China in World Politics : introduction, December, 1966, Journal of Social and Political Ideas in Japan (Tokyo), vol. IV, no. 3

Yenan rectification movement : Mao Tse-tung's big push toward charismatic leadership during 1941-1942, March, 1971, The Developing Economies (Tokyo), vol. 9, no. 1

China Studies in Japan 1970s (韓国語訳) 三巻一号 『中国問題』(韓国) 一九七八年 九月

The politics of silent de-Maoization in China : its initial phase during the post-Mao period, June 1980, The Developing Economies, vol. 18, no. 2

Critique of Mao's thought on "class struggle" within the socialist transition, Fall-winter, 1980, Asian Perspective, (Seoul) vol. 4, no. 2

Prospects for system reform in China, 十一号 『筑波法政』 一九八八年 三月

The socialist system under transformation in post-Mao China ; uncertain exploration, Spring 1984, Journal of Northeast Asian Studies. (USA) vol.3, no. 1

座礁した中国の政治体制改革 『国際関係研究』

— 十三全大会から天安門事件まで (日本語) 三輯 (韓国)

一九九一年 二月

研究資料紹介

International Press Correspondence における中国関係記事目録  
——一九二七年八月——一九三〇年六月 (石川忠雄と共同執筆)  
三三卷五号

『法学研究』

昭和三五年 五月

中国における矛盾の理論と組織原則

——H. F. Schurmann教授の分析(要約)—— 一卷二号

『アジア経済』

昭和三五年 七月

台北における中共研究と資料の状況 六卷二号

『アジア経済』

昭和四〇年 二月

劉少奇著『共産党員の修養を論ず』の延安原型 六卷二号

『アジア経済』

昭和四〇年 三月

雑誌『共産党人』、『党的生活』の論文目録 七卷九号

『アジア経済』

昭和四一年 九月

延安時期における中共出版雑誌目録 十三卷三号

『アジア研究』

昭和四一年 十月

『解放』雑誌内容目録 十七卷三一四合併号

『アジア研究』

昭和四六年 一月

書評

A・D・バーネット著『共産主義中国とアジア』(A. Doak Barnett,  
Communist China and Asia, Council on Foreign Relations,  
Harper & Brothers, 1960) 一卷四号

『アジア経済』

昭和三五年十一月

L・W・パイ著『中国政治の精神的風土―政治発展における「權威の危機」の心理・文化的研究』(Lucian W. Pye, *The Spirit of Chinese Politics: A Psychological Study of the Authority Crisis in Political Development*, The M. I. T. Press, 1968) 九  
『アジア経済』 昭和四三年十二月  
卷十二号

M・セルデン著『革命的中国における延安的方法』(Mark Selden, *The Yenan Way in Revolutionary China*, Harvard University Press, 1971) 六九卷六号 『学燈』 一九七二年 六月

J・R・タウンゼント著、小島朋之訳『現代中国―政治体系の比較分析』(James R. Townsend, *Politics in China*, Little, Brown and Company, 1974) 五四卷四号 『法学研究』 昭和五六年 四月

Chae-Jin Lee, *China and Japan: New Economic Diplomacy*. Hoover Institution Press, Stanford, 1984, *Journal of Japanese Studies*, vol. 12, no. 1

岡部達味編『中国外交』 十五卷三号 『アジア・クォーターリー』 昭和五九年 九月

非公開論文、会議提出論文

『中ソ論争と中ソ同盟の動態』アジア経済研究所(内部資料) 昭和三七年 八月  
[動向―中国―三七・一]

Mao Tse-tung's Ideological Cohesion with the party and the revolutionary movement, 1935-1945. Prepared for delivery at the Conference on Ideology and Politics in Contemporary China of the Joint Committee on Contemporary China, American Council of Learned Societies and Social Science Research Council, Santa Fe, New Mexico, USA. August, 1971.

China and Japan : some reflections on the change of the mutual image since the end of world war II. Prepared for International symposium on New Economic Realities and Changing Political Relationships in East Asia. June, 1976, Università Commerciale "L. Bocconi", Milano, Italy.

De-Maoization in flux after Mao's Passing. Prepared for Panel on the Chinese communist party since 1976. July 1979. Contemporary China Centre, The Australian National University, Canberra.

Mao's thought on class struggle within the socialist transition. Prepared for a special Seminar, August 1979, Contemporary China Centre, The Australian National University, Canberra.

A Critical stage in the modernization thrust in China : Implications for East Asian International Relations. Prepared for International symposium on a Search for Political Settlement in Asia. May 1985, sponsored by The George Washington University and The Yomiuri Shinbun at Keio University, Tokyo.

Toward Tian-anmen with Regret : the retrospect on the communist system reform in China. Prepared for Tsukuba symposium on the structural changes in East Asia and international relations, March 1990, Tsukuba.

Japan's role in the regional stability and peace in Northeast Asia. Prepared for a Seminar on the Economy of the Pacific Basin Nations, November 1990, sponsored by The Center for Asian and African Studies, El Colegio de Mexico, A. C.